



学年末の通知票の見方について

岡山県立玉島商業高等学校

科目	各 科 目 名										合計	平均	クラス順位	科順位	
第1学期	中間														
	評価														
第2学期	中間														
	評価														
第3学期	中間														
	評価														
学年末評価	①														
	②														

省 略

評定科目	各 科 目 名										単位数	各 科 目 の 単 位 数	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
評定																		
観点Ⅰ																		
観点Ⅱ																		
観点Ⅲ																		
観点Ⅳ																		
観点Ⅴ																		

注記)

- ①学年末評価：1年間の総合得点を表しています。(1～3学期の平均得点)
- ②欠課時数：各科目の1年間の欠課合計を表しています。
(1～3学期の欠課合計)
※欠課とは授業を受けなかった時間のことです。
- ③評 定：各科目の1年間の総合成績を5段階で表しています。
(5の評価が一番良く、以下4・3・2の順になります。
1の評価の場合その科目が不認定であることを表しています。)

学年末評価の得点の内訳は④～⑧の観点別で表しています。

- ④観 点 Ⅰ：各科目に対する関心・意欲・態度を表しています。
- ⑤観 点 Ⅱ：各科目に対する思考・判断・表現を表しています。
(国語総合については話す・聞く能力を表しています。)
- ⑥観 点 Ⅲ：各科目に対する技能を表しています。
(国語総合については書く能力を表しています。)
- ⑦観 点 Ⅳ：各科目に対する知識・理解を表しています。
(国語総合については読む能力を表しています。)
- ⑧観 点 Ⅴ：国語科だけの観点で、言語についての知識・理解を表しています。

※なお、④～⑧の各観点についてはそれぞれA(十分満足できる)、B(おおむね満足できる)、C(努力を要する)で評価しています。

重要項目の1番は評定(③)に注目！！

通知票のなかでも特に注目して欲しいのが③の評定の欄です。1年次では全部で11科目、2年次は13科目あります。進路に最も影響するのが、この5段階の平均、いわゆる“評定平均値”と呼ばれるものです。自分の評定平均値を知るために、この数式に当てはめてみましょう。

$$\text{自分の評定平均値} = \text{各科目評定の合計} \div 24(\text{1・2年生全科目数})$$

例えば、推薦入試やAO入試で進学を希望する人は、希望する大学・短大の推薦基準よりも自分の評定平均値が高ければ、受験する資格が与えられます。(試験があるため、合格するかどうかは別問題ですが・・・)逆に、大学の推薦基準よりも自分の評定平均値のほうが低い場合は、受験することができません。

就職希望の人にも同じようなことが言えます。原則1社に対して学校から1人が受験(求人数が2名の場合は学校から2名が受験)するようになりますが、これは就職推薦会議で決定します。会議では、3年間の評定平均が重要資料の1つとなります。ということは、就職推薦会議で評定平均が高いほうが、自分の希望する企業に推薦される可能性が高くなるということになりますね。(合格するためには、面接や、会社が求める人物像などと合致させていく必要があります。)

この他にも検定1級の数や合格状況、欠席日数、部活動での活躍、生徒会活動、3年次に取り組む「実力養成テスト&SPI」の成績等も推薦会議の重要な資料になりますので、2年生での反省も踏まえて、3年生では様々なことにしっかり取り組み、成果を出してください。